

行發曜日三第 一第 四二月每 行發日三月四年七十三治明



お・解
お・解

ことせ

時々このページ

には美しい彩色

印刷の廣告を

載せま

一冊五錢



すませ載を告廣の擱色る彩のいし美うはにジープのこ々時



發賣元 協田盛真堂

東郷横山町貳
大坂佐野屋稿

厘五税郵 錢五金冊志價定

すま載を告廣いの摺ち色り彩いし美きわにジープのこが時

明治三十七年四月三十日第三種郵便物認可 明治三十七年六月三日発行

磨齒マジック

僕等は此きれいな歯を大切せよ
 大きな兵隊さんにも多事かできせん

歯を愛すべし愛すべし 歯を愛すべし愛すべし

歯は生命の関門也 歯は生活の貴官也

歯の健全は身の為 最要務なるべきを

五千餘萬の同胞よ 歯の養生を怠らば

歯牙健全の良法よき 磨齒を得らば

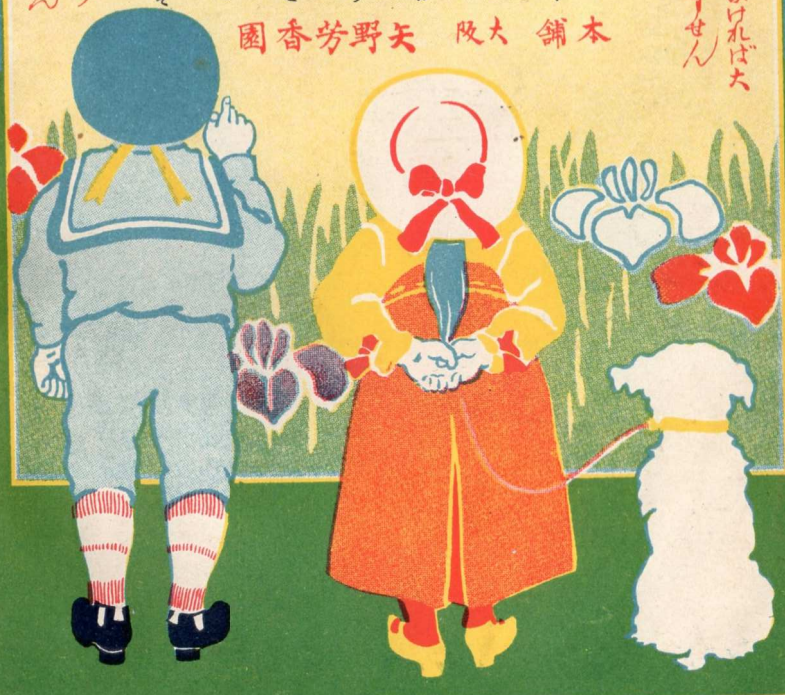
ツバメ印の磨みかきは 品質善良比ひなき

磨齒界の大王と 譽を受け内外の

博覽會に最賞 賞牌之れを証明す

故に毎朝よき磨みかきをつけて
 養生をこすれてあなうすせん

園香芳野天 阪大 鋪本



(厘五税郵) 錢五冊志價定

こどもと車



こども第四號 明治三十七年四月三十日第三種郵便物認可 明治三十七年七月三日發行

藤細工

丸藤

藤庭

割藤

大阪順慶町心齊橋東深田松之助

(電話一八三七番)

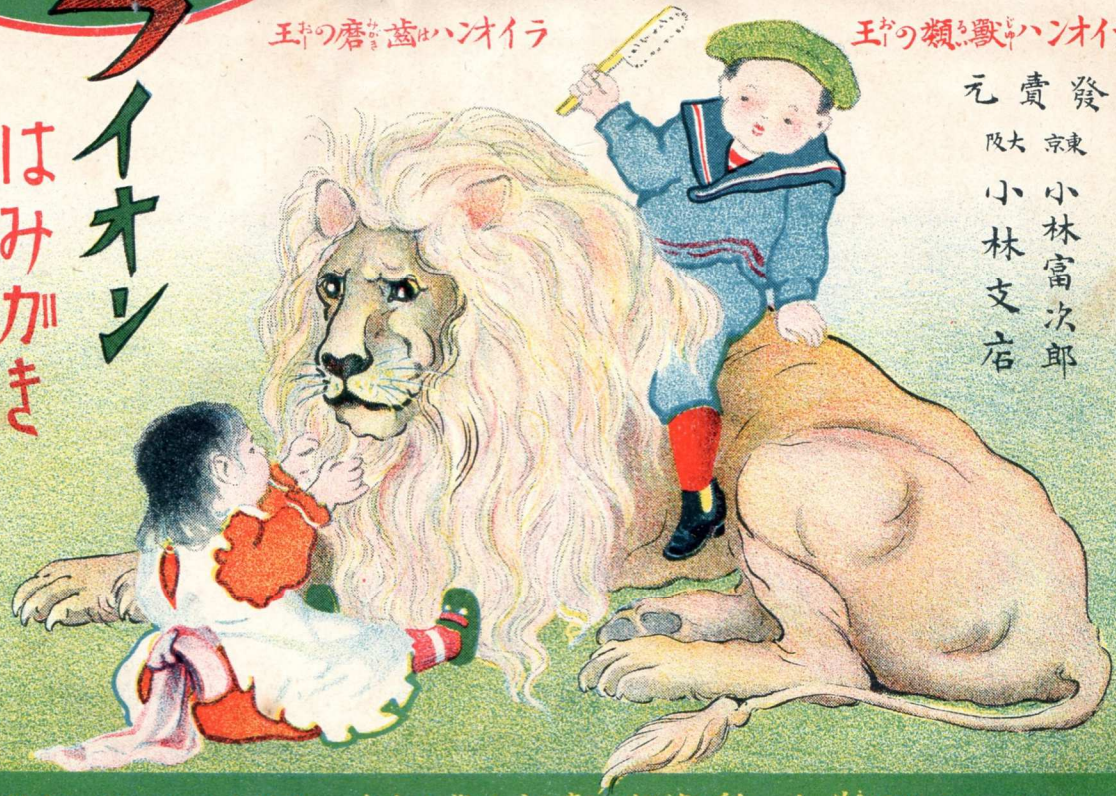
定價五冊 郵稅五厘

王がの類の獸がハノイラ

王がの磨き齒ハノイラ

元 賣 發
大 京 東
小 林 富 次 郎
林 支 店

アイオン はみかき



厘五税郵 錢五金冊壺價定 すませ載のを告廣の摺色彩いし美はにジープのこ々時

明治三十七年四月三十日第三種郵便物認可

明治三十七年八月三日發行

流行新色

ろざし糸

流行の花わ
ろざしの帯止

佛國式レース糸

明治三十七年四月三十日第三種郵便物認可

明治三十七年九月三日發行

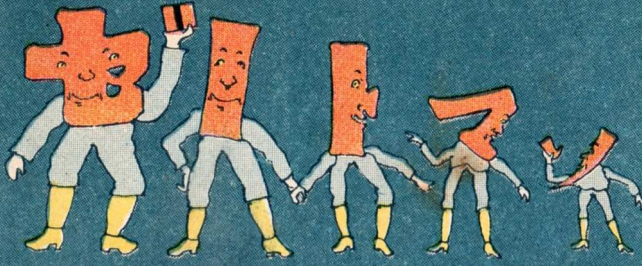


生紹布色越ざし刺形

大阪市順慶町 心齋橋西へ入 糸也見世 (東四二千八百番) 電話

定價壹冊五錢 (郵稅五厘)

桃七第もどこ



舶来
滋養食品

桃太郎 ももたろう
桃太郎 ももたろう
おきくなつてー
かーさん
ソマトーセ項戴ナー
人形またべさせて
モットモット
肥かきくするんですから



明治三十七年四月三十日第三種郵便物認可

明治三十七年十月三日發行

(厘五税郵) 錢五冊壹價定

明治三十七年四月二十日第三種郵便物認可 明治三十七年十月二十日發行

季節向新柄種々

陳列場を随時新観覧を致します



大改心齋橋丁目
下むら異服店

ベビースタンプ

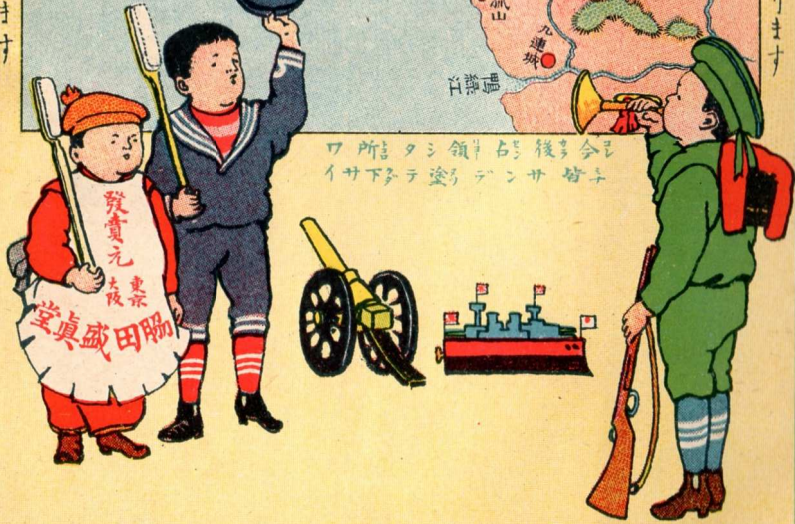
明治三十七年四月三十日第三種郵便物認可
 明治三十七年十二月三日發行

日本軍の優れたる事ハ世界に聞はれてをります

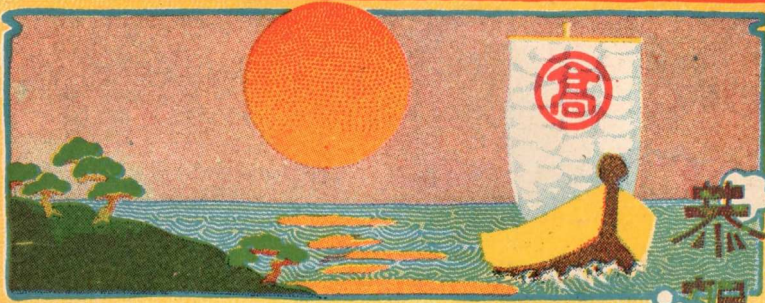
ベビースタンプの評判はウラルの山より高きまきります



今多後各領タミ所
 下サテ送リテサ



定價五錢 郵稅五厘



恭賀新年



店本店服呉田飯 邊 梟 都京
 店支店服呉田飯 橋 齋 阪大

明治三十七年四月三日第三種郵便物認可

明治三十八年正月一日發行

明治廿七年 四月三十日 第三種郵便物認可

明治廿八年 二月一日 發行



征露 紀念 勳章印

絹糸代用絹カタン糸



特製編物用 備国式絹糸製 レース糸



第 電 世 見 糸 や ご ち 久 町 慶 順 市 阪 大
(番 八 百 二 十 四 東) 入 西 橋 齋 心

(厘 五 稅 郵) 錢 五 冊 売 價 定

紀念

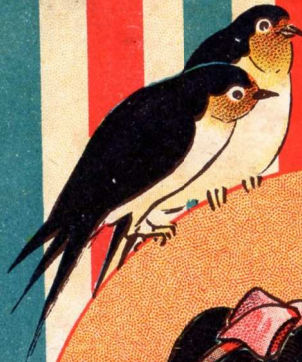


帯 じ め

明治廿八年四月三十日第三種郵便物認可

廣 告

磨齒 牙 齋 齋 齋



元 賣 發
目 丁 五 楊 苑 馬 陵 大
園 香 芳 野 矢

厘 五 稅 郵 錢 五 冊 志 價 定

明治三十七年四月三十日第三種郵便物認可 明治三十八年二月一日發行

ことし 第拾貳號